

# 動画マーケティングで生産性向上

動画投稿SNSサービス「soeasy(ソーエイジー)」などを展開するsoeasy(東京都千代田区)は、スマートフォン動画マニアアルサービス「soeasy.buddy」の販売に注力している。どこでも視聴可能な点やチャット機能を用いた会話機能などが好評だ。という。社長室の小林知晃室長に話を聞いた。



soeasy  
社長室  
小林知晃室長

— soeasy.buddyについて。  
小林 動画とAIを使った新しい生産性向上サービスです。動画を用いたeラーニング

とSNS機能であるチャット機能を備えたもので、2018年4月から販売しています。新入社員への研修などを動画撮影し、クラウド上に掲載することができます。スマホからいつでも手軽に確認ができます。

行動ログは「チームへの貢献度」として偏差値表示する機能なども備えています。

— 動画活用サービスを始めたきっかけは。小林 16年の熊本地震時に被災地にSNSの活動で生活の知恵を伝えた活動が、現地の人にとって助けになった

度も伝えなくても、そ

は。

— そのほかの利点

小林 業務の質の一定化にも役立つと思いま

す。基本的なルールな

どを動画としてあげる

ことで、各スタッフの

教え方に差異があつて

も、元々の動画を見る

— どういった現場で使われているのか。

— どういった現場で

使われているのか。



▲デモ画面のイメージ

◀動画マーケティングなども作成

小林 美容院や歯科医院で主に使われています。複数人に具体的な動作を伝えたい現場での利用が多いと感じます。また、介護現場で長い動画にすることを当社社長が知ったからです。ライフハックや災害時の知恵を短い動画にすることを社会貢献にもつなげられると思い、始めました。

JTの代わりになりま

す。また、一度教わっただけで自信のない業

務や、半年に1回と

いった頻度の少ない複

雑な業務の確認にも有

用です。

— 今後の展望は、

小林 さらに相互で教

え合うような機能など

あります。

— 他の法人もあります。

— 今後の展望